

きつとね!通信

【第30号】 新春号
令和6年1月吉日
発行責任者 稲葉 秀一
編 集 宮本 武蔵

米沢のりひさ連合後援会・とかち幸せきつとね会
〒080-0012 帯広市西2条南3丁目20 帯広グランドホテル3階
TEL (0155) 26-7100 / FAX (0155) 26-8858



新年のご挨拶 帯広市長 米沢 則寿

～ 生き残れるのは、変化できる者 ～

きつとね!通信「新春号」では、1月4日に開催された令和6年帯広市新年交
礼会における、米沢市長の「年頭の辞」をご紹介します。

米沢市長は、挨拶の冒頭で、年明け早々に起きた、能登半島地震、羽田空港
事故、火災などの被災者にお見舞いの言葉を述べました。

市民の皆様、並びにご来賓の皆様、あけましておめでとうございます。
皆様には、輝かしい希望に満ちた新年を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。



さて、昨年を振り返りますと、先端技術による農業機械が勢揃いした「国際農業機械展」や、十勝ゆかりの
選手のメダル獲得に沸いた「ワールドカップスピードスケート帯広大会」のほか、とかちマルシェ、フードバ
レーとかちマラソンなど数多くのイベントが開催され、賑わいを見せました。

新型コロナウイルス感染症の流行は、市民の暮らしや地域経済に様々な影響を与えた一方、社会経済シス
テムの在り方を見直す契機ともなり、企業や行政における働き方の見直しやデジタル化の推進につながり、AIの
導入などの新たな動きも出てきています。

世界の経済社会が予想を上回る速さで変化する中、地域づくりを進めていくためには、様々な変化を的確に
捉えながら、できないからとあきらめず、どうすればできるのかを考え、挑戦することで、新たな価値を創り
出していくことが必要であると考えます。

とりわけ、感染症の流行の長期化や頻発する大規模な自然災害、世界各地で発生している戦争・紛争など、
人類が直面するリスクが高まりつつある今、時代の流れに対応した、これまでの価値観や常識に捉われない行
動が、より重要になってきていると感じているところであります。

「最も強い者が生き残るわけではなく、最も賢い者が生き延びるわけでもない。唯一生き残ることができる
のは、変化できる者である。」

19世紀のイギリスの地質学者・生物学者で進化論を提唱したダーウィンの有名な言葉です。

つまり、生物学的進化とは、賢くなることでも身体的能力が高まることでもない、ただ、生き残りに有利な
姿に適応した結果をさすということであります。

問題は、環境が激変する時です。今、私たちは、環境の激変に直面しています。こうした状況下では、過去
からの延長線上に生き残るための解はありません。また、判断の遅れが命取りにもなりかねません。常に先を
見据えながら、様々な環境の変化への最良な適応策を考え、行動し続けることが私たち一人ひとりに求めら
れているのではないのでしょうか。

環境の激変の起点となったのは、2010年、iPhoneが発売された年と言われています。私が、十勝・帯広の
強みや魅力を活かした新たな価値の創出による地域の持続的、自立的な発展を目指し、「フードバレーとか
ち」を旗印に掲げたのも、奇しくも同じ2010年であります。

それから13年余り。管内19市町村が一体となり、連携、協力しながら、様々な挑戦や行動を続けてきたこと
で、域内外の共感の輪が広がり、この地の可能性を信じる人たちが集い、地域の活力につながってきています。

これまでの実績を礎に、将来を見据え、時代の変化を捉えながら、「フードバレーとかち」をニューステージへと深化させることが、十勝・帯広の国内外での存在感を一層高め、ひがし北海道の拠点として発展していく大きな推進力になるものと確信しています。

本年は、帯広の森の造成開始から50年の節目を迎えます。都市の緑と河川の緑を結び、市街地をグリーンベルトで囲むという壮大な構想の実現を目指し、市民自らの手で、木を植え、育て、連綿と進められてきた森づくり。50年という長い歳月を経て、帯広の森は、今、命を育む豊かな森となり、その姿を現しています。

私は、先人が森づくりに込めた「未来の世代の幸せを願う」との思いをしっかりと受け継ぎ、多くの人たちの知恵と力を集め、全ての市民が夢や希望を持ち、幸せに暮らし続けることができる地域社会の実現に全力で取り組んでまいり所存であります。

皆様には、より一層のご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、本年が、皆様にとりまして実り多い一年となりますことを心から祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。



新年のご挨拶

後援会長 稲葉 秀一

新年あけましておめでとうございます。

後援会会員をはじめ、関係の皆様におかれましては、日頃より、多くのご支援とご協力を賜っていることに、感謝とお礼を申し上げます。

本年は、米沢市長四期目の折り返しの年です。

後援会といたしましても、米沢市長が進めるまちづくりにより、とかち・帯広が活力ある地域として、さらに発展するよう、微力ながら市長を支えてまいりたいと存じます。

引き続き、皆様方のご多幸と、米沢市長並びに後援会へのご支援、ご協力をお願いし、挨拶といたします。

令和5年の実施した主な後援会事業

- 2月20日 後援会及びきつとね会通常総会
- 7月24日 まちづくり報告会
- 11月22日 年末交流会（4年振り）

多くの皆様にご出席を頂きましたこと、改めてお礼を申し上げます。



年末交流会

「連合後援会・とかち幸せきつとね会」令和6年 通常総会の日程が決まりました。

◆日時 2月20日(火) 午後6時30分 ◆会場 とかち館（帯広市西7条南6丁目2）

「とかち幸せきつとね会」会員拡大のお願い！

市長を支援する資金管理団体「とかち幸せきつとね会」では、多くの皆様にご支援をお願いいたしたく随時会員を募集しています。会員の皆様におかれましては、会員拡大に向けて、知人・友人のご紹介などを賜りたくお願いいたします。

入会の申し込みは、後援会事務所（0155-26-7100）までお問い合わせください。